

木



ツメタの大イチイ

つめたのおおいちい



神通川・宮川の最も上流の場所にあるツメタ谷。「ツメタの大イチイ」は、約2000年も生きていとされ、日本中にある木々の中でも大変大きく、とても古い大イチイです。幹は一部が空洞となり、ヒメコマツやミズメなどの木々もついでありますが、今も元気に葉を茂らせています。

水無神社の大杉

みなしんじやおおすぎ



水無神社のお祭りは、年に50回ほど行われます。その内、主なお祭りだけでも年に16回もあります。(一之宮に住むみなさんの中には、何回も参加した人や、これから参加してみたいと思う人がきっと多くいることでしょう。) 水無神社は昔も今も、村民そして飛驒の人々の心のよりどころとなっています。

臥龍桜

がりゅうざくら

岐阜県高山市一之宮町 206-2 臥龍公園内
J R高山本線、飛驒一ノ宮駅下車、徒歩1分



桜の里飛驒一之宮町のシンボルとして、国指定天然記念物「臥龍桜」があります。樹種は江戸彼岸桜で、樹高 15m、枝張 29m、目通りの周囲は 7.3mあり、推定樹齢は一千年余です。



動画: 臥龍桜 (インタビュー「金岡勝一氏」: 飛驒一之宮)

1:05min



臥龍桜について、金岡勝一氏へのインタビューから学べます。臥龍桜は、桜の里一之宮町のシンボルとして、国指定天然記念物とされています。樹齢は約1100年ほどです。名前の由来は、この桜の姿が、龍が臥している<ねている>様子に似ているからです。この桜は、台風などの幾度の生命危機を懸命な修復事業で乗り越え、復活した壮大な姿で人々を楽しませてくれます。

松

まつ

(1) 苅安峠の松



苅安峠は、日本海に流れる神通川水系・宮川と太平洋に流れる木曾川水系・飛騨川との分水嶺がある峠です。苅安峠の松は、「苅安赤松」と呼ばれます。この赤松は、すらりとした木の形で、横に出る枝が少ないのが特徴です。これは建材としてとても価値が高いものです

(2) ヌクイ谷の赤松



一之宮町は、神通川・宮川の「源流の町」として知られています。その最源流部は、ツメタ谷とヌクイ谷だと言われています。その周辺の1424haは、宮国有林と呼ばれており、以前は原生林に覆われていました。